

2011.12.20「韓国になめられているぞ！野田総理！！売国を止めろ」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は12月20日です。昨日の昼に金正日総書記が亡くなったという一報が入ってきました。今回の日本政府の対応を見て、非常に危機管理がなっていない、と強く印象を受けました。特にこのニュースが入ってきた後に安全保障会議が行われたわけですが、またもや山岡大臣が遅刻をするという失態を演じたわけです。また、野田総理も昼前に新橋で街頭演説を行う予定でしたが、臨時ニュースが10時過ぎに行われるということを知っていたにもかかわらず出かけて行き、ニュースの内容が明らかになり、藤村官房長官に呼び戻されたということでした。この対応もあり得ないわけです。北朝鮮の国営放送が重大ニュースと予告していたのですから、金正日が亡くなることも含めて細心の注意を払い、対応しなければならないはずです。しかし、何も考えずに街頭演説にノコノコと出かけて行き、再び帰ってくるという対応がそもそも考えられません。

それから、今回の騒動が起こる前に野田総理は李明博大統領と京都で会談を行いました。このときも、李大統領に慰安婦問題を早く解決してほしいと言われたそうですが「なめているのか」と言いたくなります。というのも、慰安婦問題というのは事実無根であるということは政府間では分かり切っていることなのです。もともと、この問題は、日本のある人物が面白おかしく済州島で人狩りをし、慰安婦として売ったという架空の話を執筆したことから始まった

ものです。この執筆した本人が書いたことは出鱈目であるということを認めているのです。事実、済州島では何もなかったにも関わらず、日本のマスコミが韓国政府を焚き付けて「このような問題を黙っていて良いのか」と言ったことから国際問題にまで発展したのです。韓国側は騒いでいますが、このように、元々は事実ではないのですから、両国の政府は事態の鎮静化を図るのが当然の話であります。今までは日本は紳士的な態度で対応してきたわけですが、韓国はこのことを上手く利用し、様々な要求をしてきたわけです。しかしながら、民主党政権になってから、韓国政府はありとあらゆる問題で、民主党政権の間に奪えるモノは奪っておこうという姿勢で日本に対応している気がし、まさに「なめているのか」としか思えないのです。そして今回の従軍慰安婦問題の前に、朝鮮儀軌を返す問題がありました。この返すこと自体は良いのですが、この儀軌は日本政府が略奪したものではないわけで、このような無礼な返し方はナンセンスであり、もし返すのならば、韓国にある日本政府の文書も返してもらい、お互いに交換するのならまだ分かります。ところが、一方的に日本が略奪した物を取り返したという形での返還はあり得ません。

無礼千万なことが様々ありますが、その中でも一番なのは竹島問題であります。日本固有の領土である竹島を、日本が主権を回復しアメリカが日本から手を引くのを分かったときに、李承晩ラインと称し無理やり線引きをして自国の領土だと言っているのです。そして、今では基地を作り、竹島は我が領土であ

ると歌う、日本でも有名なアイドルグループを介し、既成事実化しているわけです。このように韓国政府は意図的に既成事実を積み上げることを行ってきたわけですから。このことに対して日本政府は何ら抗議や対応をすることなく、韓国のタレント集団を受け入れ、おまけに竹島は韓国領と歌うアイドルグループを紅白にまで出場させています。この国は一体何をしているのでしょうか。挙句の果てに、韓国は外資の融資でなりたっているのですが、ユーロ危機の為に外資が引き揚げることによって、外貨準備が少ない為に、以前のようなウォン危機が訪れることを懸念して、日本側が5億ドルの通貨スワップを了承しました。もちろん、隣国の経済が困っているのを助けようというのは良いのですが、日本側の立場も、誠意も韓国に何ら伝わってはいないのです。要は、好き放題やられ、なめきられているのです。また、昨日の金正日の死亡は間違いなく数日前には分かっていたはずですが。報道によれば2日前に死亡したとのことですが、もっと前に死亡していた可能性も大いにあります。そのようなことを考えますと、先週、李大統領が訪日した際に、北朝鮮で何らかの有事の際には日本も協力して下さいという話も当然あったはずですが。ところが、このことを含めていくと、韓国に支援や協力をしたとしても、日本側は韓国側から何一つ譲歩を引き出せていないのです。せめて、従軍慰安婦問題に関しては像を即座に撤去しなければ我々の友好関係にヒビが入ると伝えなければならないのに出来ていません。

明らかに外国政府は、今の民主党政権の体たらくを見て、奪えるモノは今の内に奪っていこうと考えているのです。この典型が恐らく **TPP** であると思います。もし自民政権ならばこのような形での交渉参加はありえません。そして、今のこの時期に国内で全く議論を行わず、交渉参加表明前日まで国会で厳しい質問が行われ、総理自身 **ISD** 条項すら知らないというような状況で交渉参加するなどあり得ないのですが、要するに、このこともアメリカに普天間や原発で借りを作ってしまったから吞まざるを得ず、「飛んで火に入る夏の虫」状態に陥ってしまったというわけです。

民主党政権になりましてから国内政治においても様々な失敗を見てきましたが、外交上の失敗の積み重ねは酷いものがあります。まさに国を売る行為が白昼堂々行われており、今回の金正日死亡後の対応を見ていまでも、このままでは日本の主権は守れない、と強く感じたわけであります。現在は国会が閉会中であり、閉会中審査も行っていますが、基本的に我々野党の発言は閉ざされているのです。しかし、国会が開かれ次第、追及していきたいと思います。

民主党は国益、国益と言いながら国益など考えたこともなく、外交も考えたこともない、ただひたすら相手の要求を吞みさえすれば友好関係が築けるとしか思っていない人たちが政権を握っているのですから、今にとんでもないことが起こるでしょう。いずれに致しましても今後は北朝鮮の情勢をしっかりと見据えていかなければなりません、今の民主党政権には対応できる人物がいな

いということを国民の皆様を知って頂きたいと思います。

ありがとうございました。